

# キノコと シロンスクと トカルチュク:

ノーベル賞作家  
オルガ・トカルチュクの翻訳より



報告者：小椋 彩（おぐらひかる）

東洋大学文学部日本文学文化学科助教。北海道大学文学部卒業。  
東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士（文学）。

大学院在学中、東京大学との大学間協定によりワルシャワ大学東洋学  
研究所日本文学学科講師として赴任。専門はロシア文学、ポーランド文学、  
比較文学。翻訳書にトカルチュク『昼の家、夜の家』『逃亡派』（以上、  
白水社）、『プラヴィエクとそのほかの時代』（松籟社）ほか

## アクセスマップ



※駐車場はありません。公共交通機関でお越し下さい。

2018年のノーベル文学賞受賞者、ポーランドの作家オルガ・トカルチュク。  
「キノコ」や「環境」をキーワードに邦訳された作品の楽しみ方をご提案するほか、  
翻訳の工夫や、作家の最新作（未訳）などについてお話しします。

日時：2019年12月21日（土）14:00～15:30

会場：北海道大学附属図書館本館大会議室  
（北海道札幌市北区北8条西5丁目）

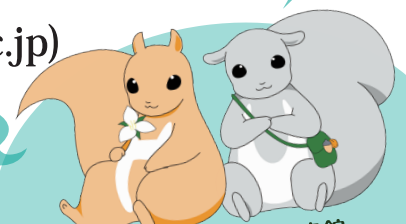
主催：SRC 北海道大学  
スラブ・ユーラシア研究センター

共催：北海道大学附属図書館

連絡先：野町素己 (mnomachi@slav.hokudai.ac.jp)

入場無料、予約不要

トカルチュクさん  
おめでとう！



北海道大学附属図書館  
公式キャラクター  
ほのかとうらら

科研費  
KAKENHI

基盤研究(C) 18K00460

亡命ポーランドと亡命ロシアにおける「場所」に関する比較文化的研究